～　会議開催結果の概要　～

１．作　成　日	令和８年１０月８日（木）
２．会　議　名	第５回海南市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
３．開催日時	令和８年１０月８日（木）午後１時３０分から午後２時５０分まで
４．開催場所	海南市役所３階　会議室３Ａ
５．議題及び結論	１．海南市高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業計画（案）について ２．その他
６．発言の内容	議題１　海南市高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業計画（案）について ◆委員からの質疑 ①老人クラブについて記載している箇所があるが、最近は高齢化により会員が減少し、役員のなり手もないような状況であると聞く。また、補助金についても対象要件が厳しくなったと聞いており、書類作成も大変らしい。 （事務局） 補助金について、他県で不適切な使途により国の指導・返還があったとのこと。これを受け、本市でも補助対象経費を明示させてもらった。補助金に係る書類作成などの事務処理については、市で支援している。 ②認知症に関わって、サポーター養成講座やサポーターステップアップ講座を受講後、受講者は何をすればいいのか。また、キャラバンメイトについて教えてほしい。 （事務局） 認知症サポーターについては、正しい知識を身につけて、地域で認知症の人やその家族を見守る役割を担ってもらうことを目的としており、特段、市から何かを依頼するものではない。キャラバンメイトについては、希望があれば講習を受けた後キャラバンメイトになってもらい、一緒にボランティア活動に参加してもらう。 ③見守り安心ネットワークに、サポーターステップアップ講座の受講者が入ることは可能か。 （事務局） 認知症の人の捜索願があれば、市の防災無線や警察からのメールで情報が伝わる。認知症サポーターには情報を入手する手段を確保してもらい、見守りの一員となってもらいたい。 ④計画に基づいて施策・事業を実施するに当たり、計画表は作成するのか。 （事務局） 毎年、本委員会において各事業の進捗状況を協議していただいている。

	⑤第９期計画では施策ごとに数値目標を設定していたが、今回の計画でも設定するのか。 （事務局） 　アウトプット及びアウトカムでそれぞれ指標を設定する。 ⑥ロジックモデルのページの初期アウトカムの項目で、青文字が目指すべき姿、黒文字が指標を示していると思うが、それらが分かるような文言を追記して分かりやすい表記にしてはどうか。また、主要施策に対する指標をどのように設定したのか。今後事業を進めていく上でその指標を見直すことはあるのか。 （事務局） 　ロジックモデルのページについては表記方法を工夫する。現時点で考えている指標については、進捗状況を把握していく必要があるため、現時点で数値が把握できている指標から設定している。また、指標やロジックモデルも含め、設定している事業とアウトカム、アウトカム間のつながりが論理的でないところがあれば、適切なものに見直すことも検討する。 ⑦今回の計画では、認知症対策と身寄りのない高齢者への対策について加筆されているが、他の箇所について第９期計画から変更点はあるのか。 （事務局） 　大きな変更はない。 ⑧認知症の早期発見・早期治療とあるが、実際、医療機関で受診するとかなり症状が進行していた事例を聞くことがある。早期に受診するための目安みたいなものを示すことはできないか。 ⑨認知症の薬はあるが、大きな効果が出るものは少ないようで、進行しなければいいといった考え方のようだ。現時点では、かかりつけ医を通じて認知症専門外来のある医療機関を早期に受診するのがいいのではないか。 （事務局） 　地域包括支援センターでも、もう少し早く相談に来てくれていればと思う事例もある。気軽に相談できる窓口としての周知に取り組むとともに、地域の民生委員や認知症サポーターからも早期に相談してもらえる体制の強化に努める。 ⑩認知症でも治るものもある。やはり早い受診が必要である。 ⑪認知症に関する取組で「認知症の本人にも協力いただく」とあるが、どのような協力をしてもらうのか。 （事務局） 　デイサービスで介護事業所を利用している人や認知症の人のグループホーム利用者に声をかけて、啓発月間で利用する配布物を作ってもらっている。 ⑫最近では認知症の人が講演をしている機会も多い。

	議題２　その他 家族介護用具給付事業について 今後のスケジュールについて 質疑等なし
７．備　　考	